

M3T-PD38 ご使用上のお願い

740ファミリ用エミュレータデバッガM3T-PD38の使用上の注意事項を連絡します。

- IARシステムズ社製CコンパイラICC740を使用して作成したオブジェクトをダウンロードした場合、ASMファイル情報が正常に読み出せません。

1. 該当製品

M3T-PD38 V.4.10 Release 1 ~ V.5.10 Release 1A

- ※ M3T-PD38 V.4.10 Release 1 より前のバージョンは、ICC740を使用して作成したオブジェクトのアセンブラソースのソースレベルデバッグには対応していないので該当しません。

2. 内容

以下のいずれかのICC740を使用して作成したオブジェクトをダウンロードした場合、プログラムウィンドウおよびソースウィンドウのSourceダイアログで表示されるソースファイル一覧にASMソースファイル名が表示されません。

そのため、ソースファイル一覧からASMソースファイルを選択して、プログラムウィンドウおよびソースウィンドウに内容を表示させることができません。

- (1) IARシステムズ社製統合化開発支援ツールEW740に含まれるCコンパイラICC740
- (2) 740用クロスツールキットM3T-ICC740に含まれるCコンパイラICC740

- ※ M3T-ICC740は3月16日に発売されました。

詳しくは 3月16日付けツールニュース「M3T-ICC740 V.1.00 Release 1 日本語版発売のお知らせ」を参照ください。

[参考]

Sourceダイアログは、以下のいずれかの操作でオープンします。

- メニュー[Option]→[View]→[Source...]を選択する。
- プログラムウィンドウおよびソースウィンドウのViewボタンをクリックし、オープンしたDisp

AreaダイアログのSourceボタンをクリックする。

- 。ソース表示モード及びMIX表示モードを選択した状態で、プログラムウィンドウおよびソースウィンドウのLine領域をダブルクリックする。

3. 回避策

本問題を改修したDLLファイルをダウンロードしてM3T-PD38をインストールしたフォルダにあるDLLファイルと入れ替えてください。

以下の手順で入れ替えてください。

- (1) まず、M3T-PD38 V.4.10 Release 1～V.5.00 Release 1をご使用の場合は、M3T-PD38の最新バージョンにバージョンアップしてください。

M3T-PD38の最新バージョンは以下からダウンロードできます。

日本語版はこちら

英語版はこちら

M3T-PD38 V.5.10 Release 1および、V.5.10 Release 1Aをご使用の場合は、手順(2)から始めてください。

- (2) 改修済みDLLファイル (p38edll.exe, 676KB) をダウンロードする。
- (3) ダウンロードしたファイルを解凍する。
- (4) 解凍後ファイル (p38edll.dll V.1.10.01) を、M3T-PD38をインストールしたフォルダにある同名のファイルに上書きコピーする。
- (5) DLLファイルのバージョンを確認する。
 - (i) M3T-PD38を起動する。
 - (ii) [Help] -> [About...]メニューを選択すると、Versionダイアログがオープンする。表示されたバージョンが、改修済みDLLファイルのバージョン「V.1.10.01」であることを確認する。

4. 恒久対策

本問題は、次期バージョンアップ時に改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。